

「男女共同参画ネットワークさの」の事前質問に対する回答

◎ジェンダーギャップ指数が、日本はまた今年も最下位に近く、佐野市でも女性登用が低いのが現状です。議員さんから見て、佐野市の1番の課題は何だと思われますか。

回答

4つの指標からなるジェンダーギャップ指数の経済に関する管理者従業員の男女比率、及び政治に関する議員数や閣僚に関する比率が小さいためにジェンダーギャップ指数が低くなっています。(教育、保健の指標の比率は世界トップレベル) 佐野市としても、女性が男性と同じよう働き、活躍できる世の中になる様に努めることが必要と考えます。【政友みらい】

女性特有の出産育児や子育てなどがあり、どうしてもハンディキャップがあります。男性が積極的に手伝える環境を社会全体で構築することが大切です。また、学校においては、女性の管理職が多いので教職員のような管理職試験を実施してみてもいいと思います。議員以外にも女性登用が少ない原因は、長い歴史の中で外のことは男性、内のことは女性という考えがありました。まず、これを改めることが必要です。【蒼生会】

現状、市役所の幹部数も増加傾向にありますが、女性は出産、育児期間があるため、幹部に上がるタイミングが重要と考えます。男性の育休の増加や定年が65歳に引き上げられると変わってくるものと考えられます。【新風】

ジェンダーギャップ指数が低いことが、深刻な問題として受け入れられていない現状がある。問題としての認識の共有ができていない事が問題であり、真に意識改革をしていくことが必要である。【公明党議員会】

市役所職員について、女性幹部職員の登用が少ない原因は、部長登用年代までに家庭の都合で退職することや、家庭での家事の負担があるため、幹部職員に就きたくないことなどがあると思います。  
職場だけの解決ではなく、社会全体の意識が変わらないと、女性が働き続けることは大変です。社会全体の意識改革が必要だと思います。【日本共産党議員団】

本市において、女性幹部職員の登用が少ないことは、採用時において、女性職員の採用が少ないこと。よって、現在の女性職員は男性の2分の1であること。また、残念ながら責任ある幹部職員に就きたくない女性職員が少なからずおられることもその要因ではないでしょうか。今後、男女平等社会を構築するためには、ノルウェーの性別クォータ制を採用し、政治参加や指導的管理職に当然の如く就任できる人材育成すること。そして、法的にも男女共同参画社会を構築することが必須であると考えます。【志翔会】

まずジェンダーギャップ指数が低い理由についてはその構成要素を知る必要がある。ジェンダーギャップ指数は教育・経済・政治・健康の4分野で構成され、特に日本では経済・政治・次いで教育の部分で総合順位を下げている要因となっている。このことから、佐野市でも同様の問題を改善しなければならない。女性登用が少ないという事だが、年功序列と採用された男女比といった事もあり、過渡期という事も1つの要因としてあげられる。しかしながら、他国との比較で低いということからも積極的に改善していかなければならない。

その課題の解決方法として労働環境の整備と男性の理解推進はもとより、特に効果的な方法としては人事を担当する部署の女性の比率を半数以上にすることで徐々に解消が見込まれると考えられる。【会派に属さない議員】

◎「佐野市男女共同参画プラン」についてどう思いますか。

このプランが実現するよう、議会に於いて施策を考え、市に働きかけてください。

回答

プランでは、男女が性別にかかわらず個性と能力を發揮できる社会の実現を目指しています。しかし、女性には出産があり、その影響が男女間の差に大きく出ています。従いまして、この状況が生活に大きく影響しない社会にして行く必要があると考えます。女性もその事に声を大きくして欲しいと思います。【政友みらい】

策定の趣旨の中に多様化する現代社会の課題を解決するため、男女がともに生きやすく、女性が活躍できる持続可能な地域社会の構築がますます重要となりますとあります。必ず押し進めるべき施策だと思えます。まずは、男女を取り巻く社会的背景を踏まえた上で、社会全体の意識改革が必要だと思えます。【蒼生会】

現状の「佐野市男女共同参画プラン」はページ数も多く要点が掴みにくいことから、5～6ページ程度の概要版を作成し啓発に努めることが必要。**【新風】**

多様化する現代社会の課題を解決するためには、豊かで活力ある地域社会を築く事が必要である。そのためには、男女が互いに人権を尊重しつつ、その個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会の実現が重要である。「佐野市男女共同参画プラン」は、そのような社会の実現を目指す上で、男女を取り巻く社会的背景を踏まえ、あらゆる分野での取組を総合的かつ計画的に推進するために重要な計画である。議会には、この計画が真に前進するよう、舵を切っていかなければならない大事な役割がある。**【公明党議員会】**

家庭生活・地域活動などの固定的な性別役割分担意識が残っている状況だと思います。自治会活動では女性の参加も多いですが、町会長など自治会役員は男性が多いように思います。  
固定的な性別役割分担の意識を変えていくよう、議会から市に働きかけることが重要だと考えます。**【日本共産党議員団】**

本市の男女共同参画プランの基本理念・目標・施策について、市民の認識、理解が得られていない状況であると思います。平成28年より掲げられている佐野市男女共同参画都市宣言に沿って、男女共同参画社会を構築する重要性を周知、啓発活動に取組まなければならないと考えます。**【志翔会】**

質問が2つになっているので、別々に回答します。

- ・佐野市男女共同参画プランについて  
一定の評価はするもののまだまだ足りない部分が多いと感じる。
- ・プラン実現に向けての市への働きかけ  
ジェンダー平等の実現について積極的に取り組んでいるところであり、また地方の人口減少の問題として、若い女性の転出超過に着目し、その対策として男女共同参画の実現に向けてより一層取り組むよう働きかけを行っている所。

今後具体的に働きかけを行うとすれば女性の人材バンク登録者について目標を掲げるといった事に取り組みたい。そのためには、登録できる方の表記を変更する必要があると考えている。

また、男女共同参画プランをより推進するためには、「男性の理解」を深めるためのリーチの仕方、そしてそこから「男性が主体的に取り組む」ところまで発展させる必要があり、その施策に取り組む必要があると考えている。**【会派に属さない議員】**